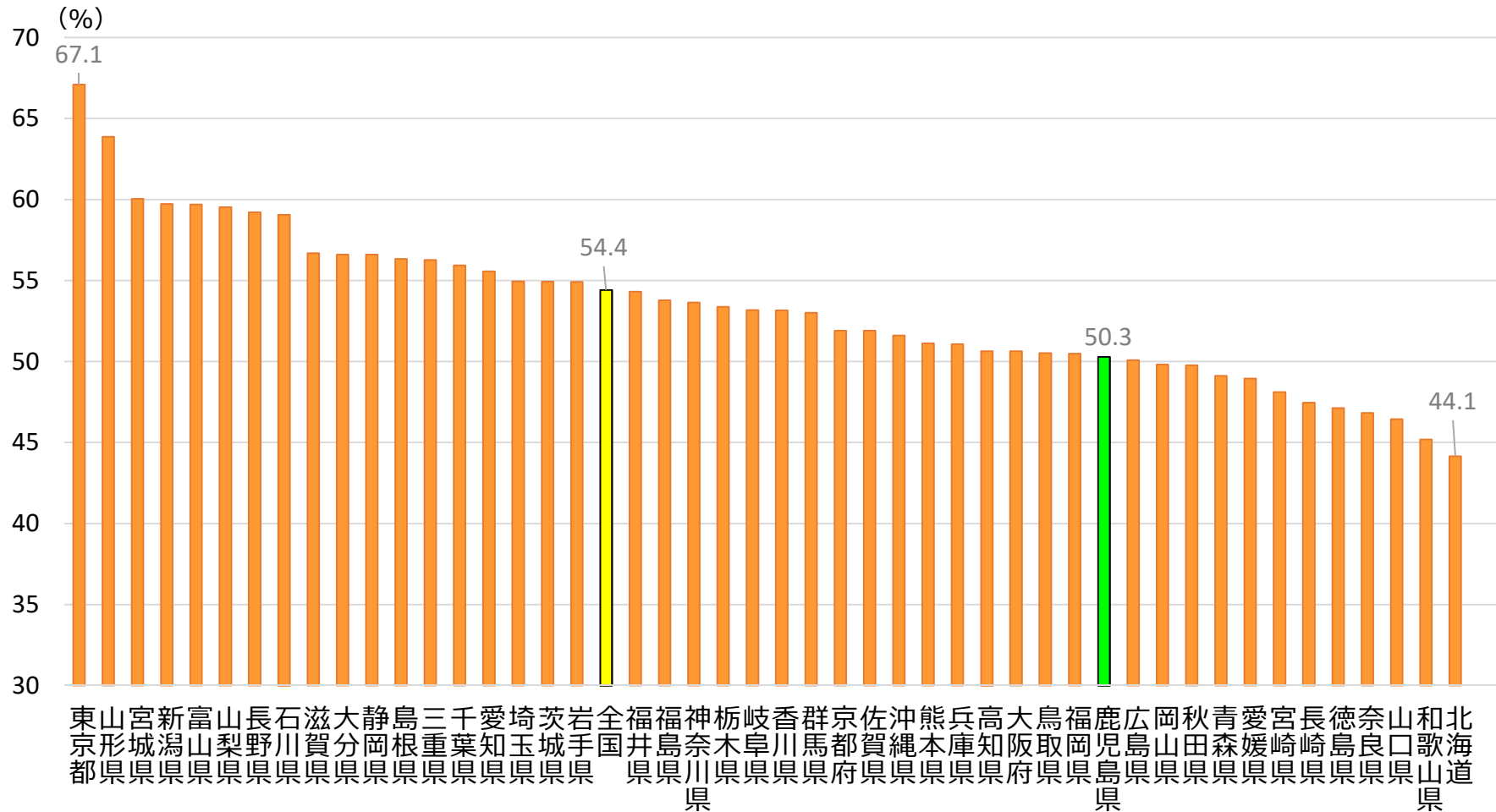


# 特定健康診査実施率の推移

本県の平成30年度特定健康診査実施率は、全国平均よりも低く、ワースト13位。

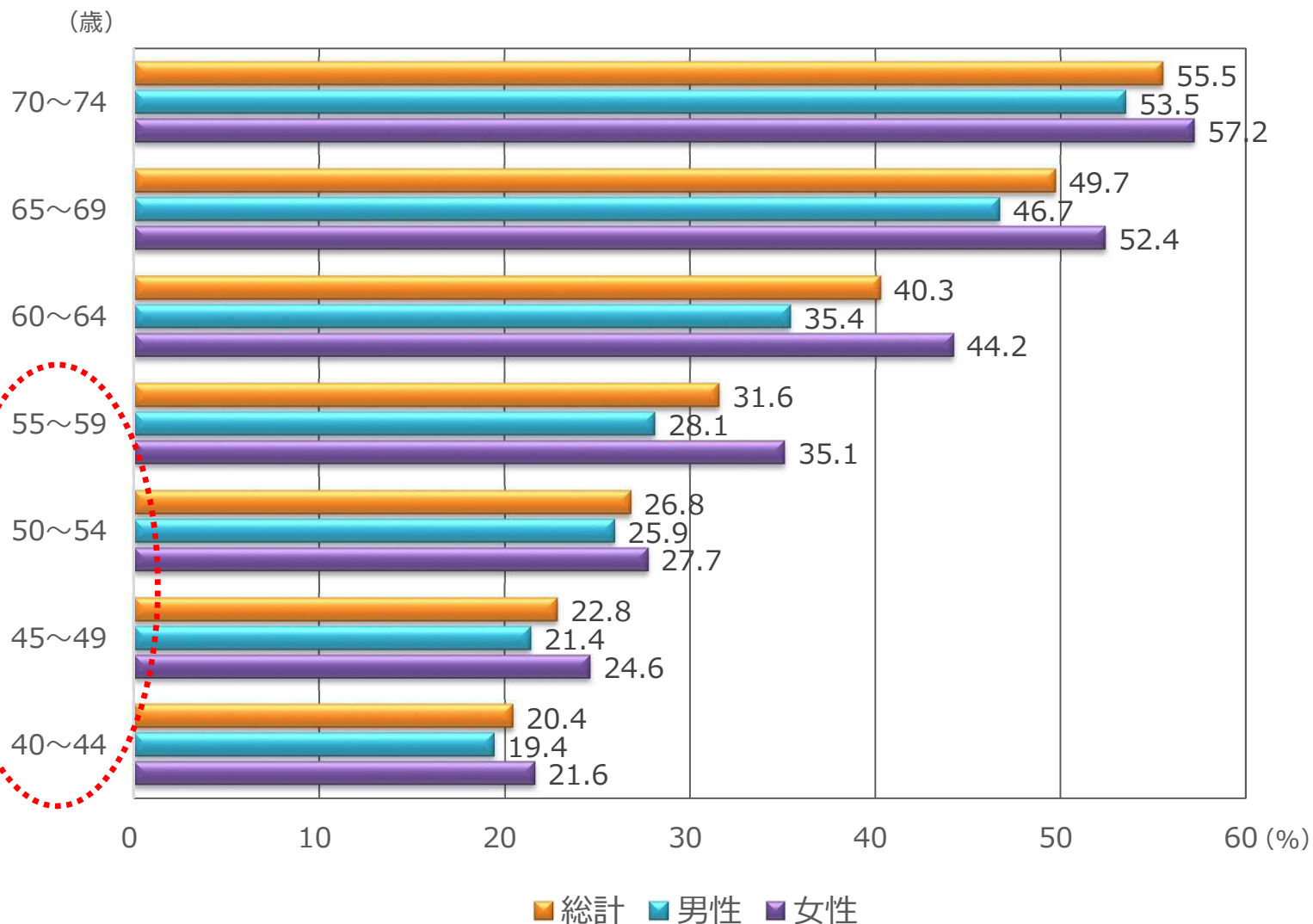
## 平成30年度都道府県別特定健康診査実施率



(出典：厚生労働省データ)

# 【市町村国保】 年齢階級別にみた特定健康診査実施率（平成30年度）

年齢階級別にみると、40～50歳代の働き盛り世代の受診率が低い。

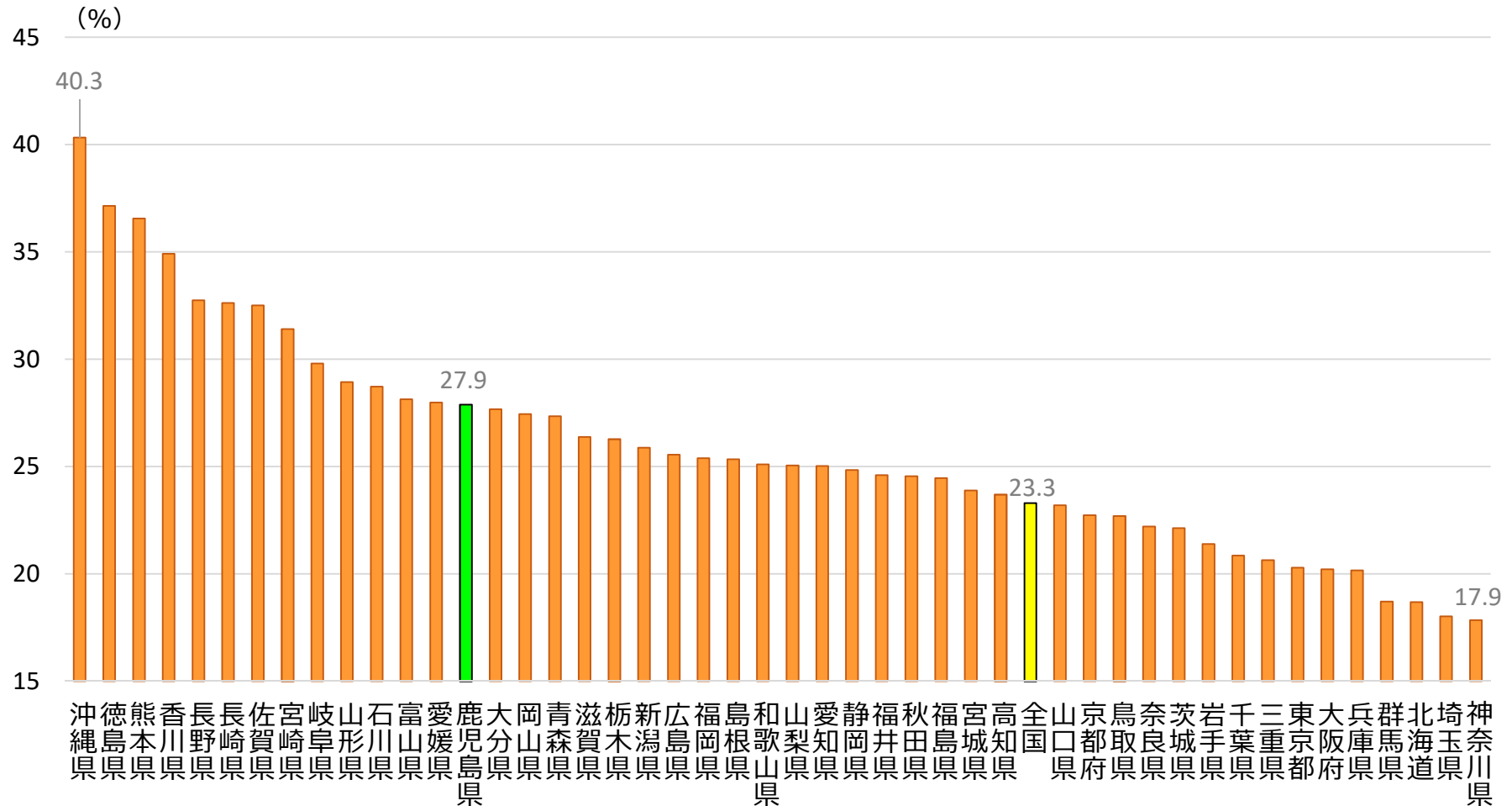


(出典：国保中央会作成「特定健康診査等実施状況（平成30年度）集計データ」)

# 特定保健指導査実施率の推移

本県の平成30年度特定健康診査実施率は、全国平均よりも高く、14位となっている。

## 平成30年度都道府県別特定保健指導実施率



(出典：厚生労働省データ)

# メタボリックシンドロームの該当者・予備群の状況

令和5年度に平成20年度比25%以上減少と目標を設定しているところだが、平成29年度は1.7%増加している。

## メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
本県 (%)	1.91	1.37	1.22	▲0.64	▲1.7
全国 (%)	3.47	3.18	2.74	1.1	▲0.9

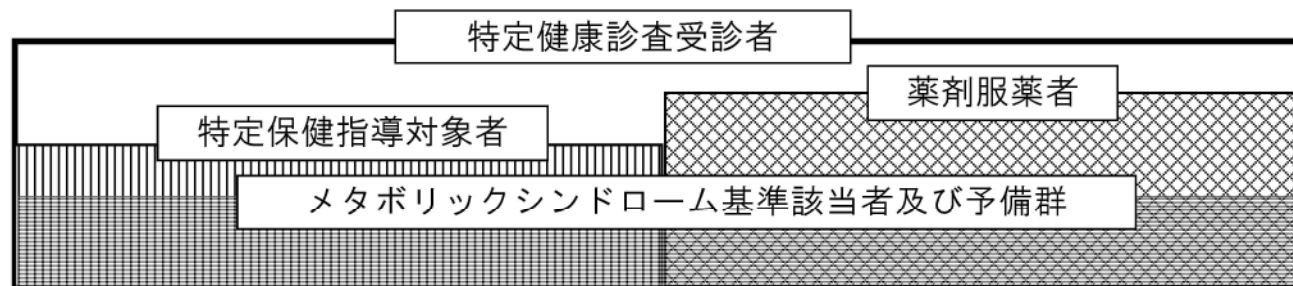
出典：厚生労働省提供データ（第2期医療費適正化計画用計算式から算出）

## <メタボリックシンドロームの判定基準>

腹囲	追加リスク		
	①血糖	②脂質 ③血圧	
≥85cm（男性）	2つ以上該当		メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm（女性）	1つ該当		メタボリックシンドローム予備群該当者

- \* ①血糖：空腹時血糖110mg/dl以上、②脂質：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、③血圧：収縮期130mmHg以上、または拡張期85mmHg以上
- \* 高TG血症、低HDL-C血症、高血圧、糖尿病に対する薬剤治療を受けている場合は、それぞれの項目に含める。

## <メタボリックシンドローム基準該当者及び予備群と特定保健指導対象者の関係>

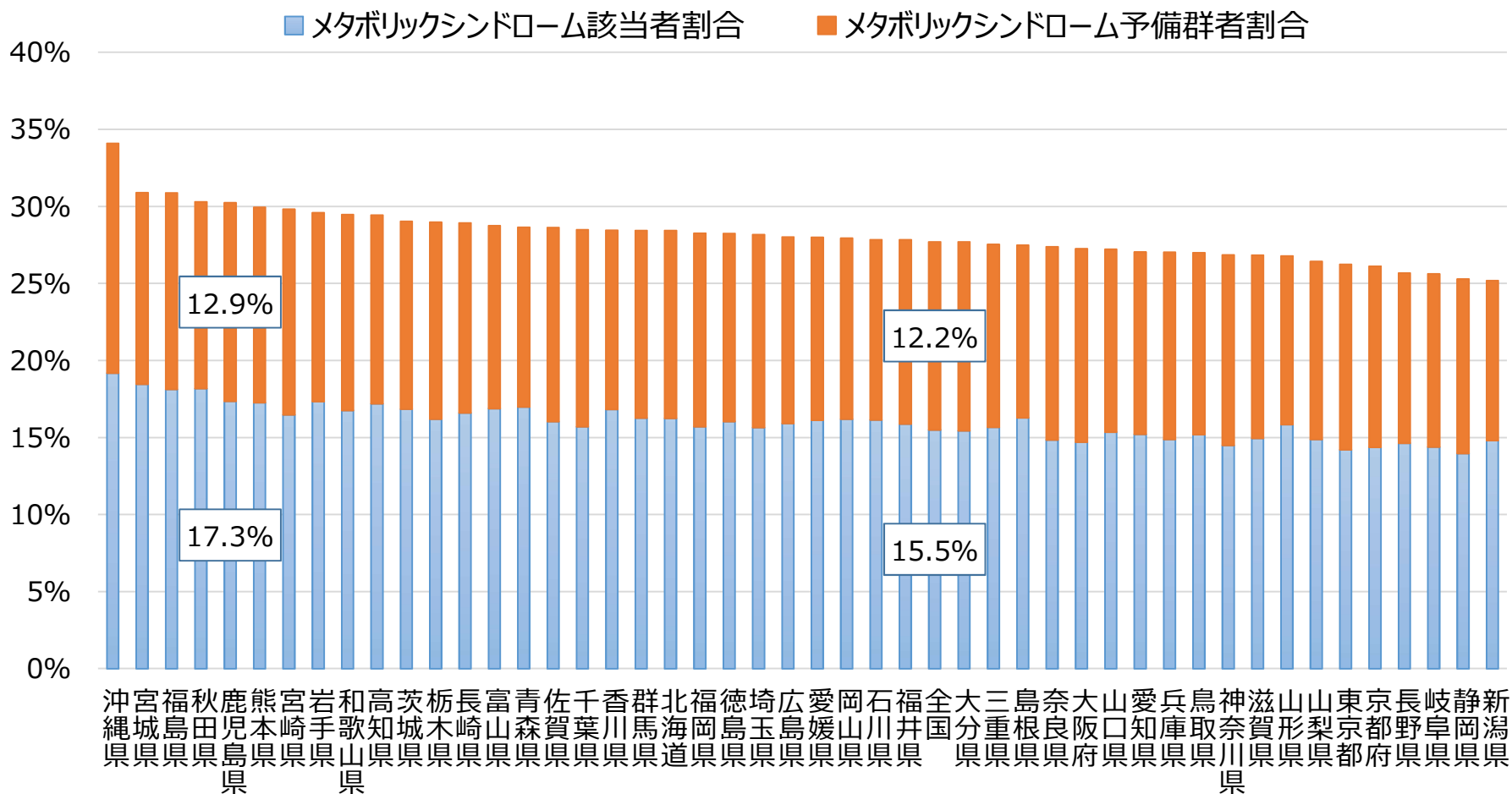


\* メタボリックシンドロームには、薬剤服薬者が含まれるほか、血糖値の基準が若干異なる。

# メタボリックシンドロームの該当者・予備群の状況

平成30年度のメタボリックシンドローム該当者・予備群の出現率をみると、全国平均よりも高く、5位と上位を占めている。

## 平成30年度都道府県別メタボリックシンドロームの該当者・予備群の出現率



(出典：厚生労働省データ)